

富士市電子入札運用基準

この富士市電子入札運用基準は、発注者と入札参加者がコンピュータとネットワーク（インターネット）を利用した静岡県共同利用電子入札システムで行う入札手続（以下「電子入札」という。）について、電子入札を円滑かつ適切に運用できるように取扱いを定めたものです。

（定義）

「入札参加者」：入札（見積りを含む）に参加しようとする者（入札参加資格者）

「紙入札」：紙で行う入札手続

「ＩＣカード」：電子認証局が発行した電子証明書

「紙入札業者」：紙入札により入札に参加する業者

「代表者」：入札参加資格のある業者の代表者

「受任者」：代表者から入札・見積権限及び契約権限について年間委任状により委任を受けた者

「経常ＪＶ」：経常建設共同企業体

「特定ＪＶ」：特定建設工事共同企業体

「紙媒体」：参加申請書や入札書などを記録する紙

1 電子入札について

1-1 電子入札システムについて

電子入札システムとは、コンピュータとネットワーク（インターネット）を利用して入札への参加申請から入札・落札者決定までの事務（以下「入札事務」という。）を処理するシステムです。

電子入札システムの処理対象は、建設工事及び測量、建設コンサルタント等の建設関連業務委託の入札（以下「案件」という。）とします。

1-2 電子入札実施の考え方について

発注者が電子入札で行う旨を指定した案件（以下「電子入札案件」という。）は電子入札システムで処理することとし、原則として紙媒体による参加申請書や入札書の提出は認めないものとします。

1-3 入札情報サービスの運用について

電子入札案件の入札公告、入札結果の公表、その他調達手続きに必要な事項の公表は入札情報サービス（以下「PPI」という。）で行います。

2 電子入札システムの利用について

2-1 電子証明書について

電子証明書とは、電子認証局が発行した電子的な証明書で、紙の書類に押印する印鑑に相当し、誰に発行されたものであるかを電子認証局が証明します。

静岡県共同利用電子入札システムで利用可能なＩＣカードは、一般財団法人日本建設情報総合センターの電子入札システムに対応した民間の電子認証局が発行したものです。

2-2 電子入札を利用することができるＩＣカードの基準について

電子入札を利用することができるＩＣカードは、富士市の建設工事又は建設関連業務委託の入札参加資格審査申請をした代表者又はその受任者（入札参加資格者名簿登載者）のＩＣカードに限ります。

なお、受任者による電子入札の利用は、年間委任状（入札参加申請に伴うもの。）が提出された場

合に限ります。

2-3 利用者登録について

初めて電子入札システムを利用するときは、電子入札システムによる利用者登録を行ってください。利用者登録をする際に必要な「利用者登録番号」は「システム利用届」(様式1)の提出(郵送または持参)により、財政部契約検査課において発行します。

郵送にて請求する場合は、簡易書留郵便代分の切手を同封してください。窓口にて請求する場合は、交付時に雇用の確認できる書類(保険証または社員証)及び本人確認書類(運転免許証等)を持参してください。

また、登録事項に変更が生じた場合は、電子入札システムによる利用者登録変更手続きを行い、「システム利用変更届」(様式2)を財政部契約検査課へ提出してください。

2-4 代理について

電子入札においては、代理は認めません。

名簿に登録された代表者の変更等によりICカードが失効する場合や失効する見込みの場合は、「6-3 紙入札による参加について」の考え方によります。

2-5 JVの取扱について

JV(経常JV、特定JV)においては、JV代表者が単体企業として利用者登録済みのICカードを使用するものとし、経常JVにあつては入札参加資格審査申請時に「電子入札利用届(JV用)」(様式3)を、特定JVにあつては結成時に「電子入札利用届(JV用)」(様式3)を財政部契約検査課へ提出してください。

3 システム障害等について

3-1 システム障害について

電子入札システム用サーバー・ネットワークなどに障害が発生し、入開札事務が処理出来ないことが判明した場合は、その原因、復旧見込み等を調査検討して、入開札事務の延期、紙入札への移行などの措置を講じます。

この場合は、電子入札システム以外の方法(PP I、電子メール、電話、FAX等)により入札参加者に必要な事項を発注者から連絡するものとします。

3-2 システム以外の障害について

天災、電力会社の原因による広域的・地域的な停電、通信事業者(プロバイダを含む。)の原因によるネットワーク障害、その他やむを得ない事情により複数の入札参加者が電子入札システムによる入開札に参加出来ないことが判明した場合は、その原因、復旧見込み等を調査検討して、入開札事務の延期、紙入札への移行などの措置を講じることがあります。

入開札事務の延期、紙入札への移行などの措置を講じる場合において、延期、紙入札への移行その他必要な事項を電子入札システム、PP I、電子メール、電話、FAX等により発注者から入札参加者に連絡するものとします。

4 入札案件登録について

4-1 受付期間等の設定について

参加申請書、入札書等の提出期限(見積期間)等は従来の紙入札方式に準じて設定するものとします。

なお、開札予定日時の設定は、入札書受付締切日時の翌日を基本とします。

4-2 案件登録事項の変更について

登録した案件に錯誤があった場合、その他登録内容を変更する必要がある場合は、速やかに修正し、案件名称に「(〇月〇日:〇〇変更)」等の表示を行うものとします。

この場合、既に参加申請書等の提出済の者がいる場合は、発注者は確実に連絡の取れる方法により変更した旨を伝えるものとします。

なお、システム上変更出来ない項目に錯誤があった場合は、当該案件名を「当該案件は、登録錯誤につき取り消し、別途同一案件名で登録しました。」に変更し、新規に案件登録するものとし、既に参加申請書等の提出済の者がいる場合は、発注者は確実に連絡の取れる方法により変更した旨と、提出済書類の再提出を求めるものとします。

5 関係書類の提出について

参加申請書に添付する添付資料・関係書類（以下「関係書類」という。）は、原則として電子データとして作成し、電子入札システムを利用して提出するものとしますが、その特性によっては紙媒体による提出を求めることがあります。

また、案件の特性によっては説明できる者による持参を求める場合があります。これらの場合は、その旨を案件公告に明記します。

5-1 関係書類の作成方法について

関係書類の作成に使用するアプリケーション（ソフト）及び保存形式は表1を標準とします。

表1 使用アプリケーション

No.	アプリケーション名	ファイル形式	備考
1	Word (Microsoft Corp.)	doc、docx	<ul style="list-style-type: none"> ・保存形式によっては損なわれる機能があるので、資料作成時に当該機能（損なわれる機能）は使用しないでください。 ・パスワードは設定しないでください。 ・マクロは含めないでください。
2	Excel (Microsoft Corp.)	xls、xlsx	
3	その他	PDF 画像ファイル (JPEG形式、GIF形式) ファイル圧縮 (Lzh、Zip、Cab) ※自己解凍形式 (EXE 形式) は認めません。 その他発注者が認めた形式	

5-2 関係書類の提出方法について

関係書類は、原則として電子データで提出するものとし、電子入札システムの添付機能を利用して提出してください。

ただし、電子ファイルの容量が3MBを越える場合は、関係書類の作成方法、提出方法を発注者と協議し、その指示に従ってください。

なお、関係書類を紙媒体で（電子入札システムを利用せずに）提出する場合は、電子入札システムで入札参加資格確認申請書又は公募型指名競争入札参加申込書を提出する際に紙媒体で関係書類を提出する旨を明示してください。

この場合の紙媒体の提出期限（当該案件の発注者に必着とします。以下同じ。）は電子入札システムによる提出期限と同一とし、発注者は必要な関係書類を全て受理した時点で電子入札システムにより参加申請書受付票を発行するものとします。

5-3 ウィルス対策について

入札参加者は、コンピュータウィルスに感染しないようにウィルス対策用のアプリケーション（ソフト）を導入するなどの対策を講じてください。

ウィルス対策アプリケーションの種類は問いませんが、常に最新のパターンファイルを適用し、関係書類等を作成、提出する場合は必ずウィルス感染チェックを行ってください。

発注者は、提出された関係書類その他の電子ファイルを直接閲覧等の操作をせずに、ウィルスチェックを行ってから閲覧その他の操作を行うものとします。

入札参加者から提出された関係資料等がウィルスに感染していることが判明した場合は、直ちに作業を中止し、電子入札システム管理者に連絡するとともに、当該関係資料を提出した入札参加者と関係書類の提出方法を協議するものとします。

6 入札について

電子入札では、参加申請書や入札書等は電子入札システムのサーバーに記録された時点で提出されたものとします。電子入札システムでは、これらの情報がサーバーに正常に記録された時点で、処理された内容、時刻等を受信確認通知で表示しますので、参加申請書や入札書等の提出を行った時は、必ず受信確認通知の表示を確認してください。

受信確認通知が表示されない場合は、必要な情報が正常にサーバーに到達していないので、再度処理を行い、それでも受信確認通知が表示されない場合は静岡県電子入札共同利用センターヘルプデスクにお問い合わせください。

なお、各受信確認通知は、提出処理を行った時のみ表示され、再表示は出来ませんので、必要に応じて印刷等を行ってください。

（注）入札書（内訳書を含む。）の提出は入札金額等を暗号化して送信するため、入札書提出後（受信確認通知の表示以降）は入札金額の確認ができませんので注意してください。

6-1 電子入札による提出について

電子入札システムによる入札受付期間は開札予定日の前日（午前9時から午後4時まで。）及び前々日（午前9時から午後9時まで。）の2日間（土日祝日を除く。）を基本とします。

6-2 ICカードの再取得が間に合わない場合の特例について

商号や代表者の変更により、ICカードの再取得が間に合わない場合は、「旧ICカード使用届」（様式4）を発注者に提出することにより、ICカードの再取得をするまでの間は、再取得前のICカードで入札参加できるものとします。

6-3 紙入札による参加について

次の紙入札を認める例に該当することとなった場合は、入札参加者は「紙入札方式参加申請書」（様式5）を発注者に紙媒体で提出して、承認を得ることで、紙入札により参加することができます。

＜紙入札を認める例＞

- ①商号、会社住所、代表者の変更により、ICカードの再取得が間に合わない場合
- ②ICカードの閉塞（PIN番号の連続した入力ミス）、破損、盗難等による再発行手続き中の場合

※ 上記①、②は、社会通念上妥当な手続き期間内に限ります。

- ③その他やむを得ない事情があると認められる場合

6-4 紙入札方式による提出期限について

紙媒体による入札書の提出期限は、電子入札による入札期限と同じとし、発注者に持参するものとします。

6-5 紙入札から電子入札への移行について

紙入札方式の承認を受けた後の電子入札への移行は認めません。

7 工事（委託）費内訳書について

入札書に添付する工事（委託）費内訳書（以下「内訳書」という。）は、原則として電子データとして作成し、電子入札システムを利用して提出するものとしますが、その特性によっては紙媒体等による提出を求めることがあります。

7-1 内訳書の作成方法について

内訳書の作成に使用するアプリケーション（ソフト）及び保存形式は5-1に準じます。

7-2 内訳書の提出方法等について

内訳書は、原則として電子データで提出するものとし、電子入札システムの添付機能を利用して提出してください。内訳書の電子データの提出期限は電子入札の入札期限と同じです。紙入札の場合の内訳書の提出期限は紙入札の入札書提出期限と同じです。

7-3 入札の辞退について

電子入札システムで入札書提出前に辞退する場合、入札書受付期間（指名競争入札の場合は指名通知書受理後から入札書受付締切までの間）に電子入札システムにより辞退してください。

なお、同時に「電子入札辞退理由書（辞退届）」（様式6）を発注者へ提出してください。（FAX可）

7-4 ウィルス対策について

ウィルス対策は、5-3に準じます。

8 開札について

開札は、事前に設定した開札予定日時後に速やかに行うものとし、原則として一括開札処理で行います。

なお、紙入札方式による参加者がいる場合は、入札執行職員の開札宣言後、紙媒体の入札書を開封してその内容を電子入札システムに登録し、その後に電子入札書を一括開札して立会者等の確認後、落札者の決定を行います。

ただし、制限付き一般競争入札において、同日開札の複数の案件に同一の技術者を配置予定技術者として申請している入札参加者がいる場合は、当該案件毎に開札します。

8-1 開札時の立ち会いについて

入札参加者は、開札に立ち会うことが出来ます。ただし、入札結果の一覧はその場で確認できない場合があります。

8-2 くじの実施について

落札となるべき金額を入札した者が複数あり、くじにより落札者の決定を行うこととなった場合

は、入札参加者が入力した任意の数値と処理時刻を用いた演算式により、電子くじを実施します。

紙入札者は、入札書の欄外に、電子くじ用に任意の3桁の数値を記載し、入札執行者がその数値を電子入札システムに入力します。3桁の数値の記載の無い場合は、電子入札システムより任意の3桁の数値を取得し入力します。

電子くじとは、電子入札した順番、時刻及び入札時にランダムに設定される3桁の番号（入札者が番号を変更できる）により計算し落札者を決定するものです。

8-3 開札処理が長引いた場合について

開札予定日時から落札者決定通知書発行まで著しく遅延する場合は、発注者は必要に応じて電子入札システムその他適当な手段により処理状況の情報提供を行うものとします。

8-4 開札の延期について

開札を延期する場合、発注者は、電子入札システムその他適当な手段により、当該案件に入札書を提出している参加者全員に、開札を延期する旨と変更後の開札予定日時を通知するものとします。

8-5 入札書未提出の取扱について

入札書提出締切予定日時において、入札書が電子入札システムサーバーに未到着の入札参加者の入札は、無効とします。

なお、「入札書未提出理由書」（様式7）を発注者へ提出してください。

8-6 開札の中止について

開札を中止する場合、発注者は、電子入札システムその他適当な手段により、当該案件に入札書を提出している参加者全員に、開札を中止する通知をするとともに、入札書を開封せずに電子入札システムに中止の結果登録するものとします。

8-7 入札書提出後の辞退について

原則として、一度提出した入札書の撤回、訂正等は出来ません。

例外として、電子入札システムにより入札書を提出した後に、配置予定技術者が配置出来なくなり参加資格を喪失した場合など、やむを得ない事由が生じた場合は、発注者は開札までの間、「参加資格喪失の届出」（様式8）を受け付けるものとし、辞退したものとします。

＜電子入札システムにより入札書を提出後に参加資格喪失の届出を認める例＞

- ・電子入札システムにより入札書を提出後、他の案件を落札したことにより、予定していた技術者を配置出来なくなった場合

8-8 再度の入札について

入札の結果、落札者が決定しない場合、再度の入札（以下「再入札」という。）を電子入札で行います。再入札は第1回目の開札予定日時から概ね3時間後以上を基本として実施します。再入札の実施については、再入札対象者全員（紙入札業者を除く。）に電子入札システムにより再入札通知書を発行します。紙入札業者で再入札対象者がいた場合は、電子入札システム以外の方法（電子メール、電話、FAX等）により速やかに再入札対象となる旨を伝えます。

なお、発注者は、この基本以外の日時設定をする案件については、入札参加者へその旨の周知をはかります。

再入札に紙入札が含まれる場合、紙入札業者は発注者が指定した入札書の提出期間に指定した場所へ入札書を持参するものとします。

9 その他

9-1 ICカードの不正利用について

入札参加者がICカードを不正に使用等した場合には、指名停止等の処分を行うことがあります。電子入札に参加し、開札までに不正使用等が判明した場合は、当該案件への参加資格を取り消します。

落札後に不正使用等が判明した場合には、契約締結前であれば、契約締結を行わず、また、契約締結後に不正使用等が判明した場合には、着工工事の進捗状況等を考慮して契約を解除するか否かを判断するものとします。

＜不正にICカードを使用等した場合の例＞

- ・他人のICカードを不正に取得し、名義人になりすまして入札に参加し、又は参加しようとした場合
- ・代表者が変更となっているにもかかわらず、変更前の代表者のICカードを使用して入札に参加し、又は参加しようとした場合
- ・同一案件に対して、複数のICカードを使用して複数の参加申請書や入札書を提出し、又は提出しようとした場合

附則

この基準は、平成17年6月14日から施行する。

附則

この基準は、平成18年4月1日から施行する。

附則

この基準は、平成19年4月1日から施行する。

附則

この基準は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この基準は、平成20年7月1日から施行する。

附則

この基準は、平成26年4月1日から施行する。

附則

この基準は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この基準は、平成29年4月1日から施行する。

附則

この基準は、令和3年4月1日から施行する。

附則

この基準は、令和3年6月1日から施行する。

附則

この基準は、令和6年4月1日から施行する。

様式 1

システム利用届

年 月 日

(宛先) 富士市長

住 所
届 出 者 商 号 又 は 名 称
代 表 者 (受 任 者) 名

富士市の電子入札システムに参加する際に使用する I C カードの情報を下記のとおり届け出るとともに、利用者登録番号の交付を求めます。

記

I C カードに記載された 所有者所属組織名称	
I C カードに記載された 所有者所属組織住所	
I C カードに記載された 代表者 (受任者) 氏名	

注意

1. I C カードの所有者名が代表者名と異なる場合は、システムの利用ができませんので注意してください。(代表者とは、富士市の建設工事又は建設関連業務委託の入札参加資格者を指し、権限を年間委任している場合はその受任者です。)
2. 郵送により利用者登録番号の交付を求める場合は、システム利用届 (様式 1) を財政部契約検査課へ郵送または窓口へ直接持参してください。

郵送にて請求する場合は、簡易書留郵便代として〇〇〇円の切手を同封してください。窓口にて請求する場合は、交付時に雇用の確認できる書類 (保険証または社員証) 及び本人確認書類 (運転免許証等) を持参してください。なお、交付には数日要しますのであらかじめご了承ください。

様式 2

システム利用変更届

年 月 日

(宛先) 富士市長

住 所
届 出 者 商号又は名称
代表者(受任者)名

富士市の電子入札システムに参加する際に使用する I C カードの情報を下記のとおり届け出ます。

記

I C カードに記載された 所有者所属組織名称	変更前	
	変更後	
I C カードに記載された 所有者所属組織住所	変更前	
	変更後	
I C カードに記載された 代表者(受任者)氏名	変更前	
	変更後	

注意 I C カードの所有者名が代表者名と異なる場合は、システムの利用ができませんので注意してください。(代表者とは、富士市の建設工事又は建設関連業務委託の入札参加資格者を指し、権限を年間委任している場合はその受任者です。)

様式 3

電子入札利用届（J V 用）

年 月 日

（宛先） 富士市長

共同企業体の種別 経常建設共同企業体／特定建設工事共同企業体

共同企業体の名称

（届出者）

代表者 住 所

商号又は名称

代表者（受任者）名

構成員 住 所

商号又は名称

代表者（受任者）名

構成員 住 所

商号又は名称

代表者（受任者）名

富士市の電子入札に参加したいので、関係書類を添えて届け出ます。

記

（添付書類）

1 委任状

様式4

旧 I C カード使用届

年 月 日

(宛先) 富士市長

住 所
届 出 者 商 号 又 は 名 称
代 表 者 (受 任 者) 名

現在の登録内容変更に伴い、新 I C カード取得の手続き中のため、新 I C カード取得までの間、旧 I C カードの使用について下記のとおり届け出ます。

記

登録内容の変更項目	旧 I C カード	新 I C カード
商号		
代表者		
住所		
使用期間	年 月 日 ~	年 月 日
連絡先	所属・氏名 電話番号	

注意

1. 届出者のうち、代表者名は新 I C カード取得者（本社等より権限の委任を受けている場合は受任者名）を記入してください。
2. 登録内容の変更項目欄については、該当項目のみ記入してください。
3. 登録内容の変更から2ヶ月を目安として新 I C カードを取得してください。

様式 5

紙入札方式参加申請書

年 月 日

(宛先) 富士市長

届出者 住 所
商号又は名称
代表者(受任者)名

下記案件について、富士市の電子入札に参加できないので、紙入札方式による参加を申請します。

記

- 1 契約番号
- 2 案件名称
- 3 電子入札システムによる参加ができない理由

上記について承認します。

年 月 日

様

(発注者名)

様式 7

入札書未提出理由書

年 月 日

(宛先) 富士市長

住 所
届出者 商号又は名称
代表者(受任者)名

下記により入札できませんでした。

記

- 1 契約番号
- 2 案件名称
- 3 入札書未提出理由

- 1 入札を執行する課へ提出してください。
- 2 入札を無断で辞退することのないよう十分留意してください。

様式 8

参加資格喪失の届出

年 月 日

(宛先) 富士市長

届出者 住所
商号又は名称
代表者(受任者)名

下記案件について富士市の電子入札の参加資格を喪失したので届け出ます。

記

- 1 契約番号
- 2 案件名称
- 3 理由(該当する項目にチェックしてください)

配置予定技術者を配置出来なくなったため

指名停止処分を受けたため

その他

(理由:

)